

理論訓示 第10回

何回やってもできない時

今回の理論訓示は、何回やってもできないな、できないな、何回やってもできないな、という気持ちになったときどうすればいいかというお話をしたいと思います。

心が折れないようにする。もう駄目だ、もう駄目だ、全然できない。こういう気持ちで取り組んだとしたら、もっともってできなくなります。できるものもできなくなっちゃいます。ですから、まずは心が折れないようにする。では、どうしたらいいか。

一つ目です。できない時間は能力を高める大切な時間である。こういう認識をしっかり持つということ。できないことに困る必要なんかないんです。もちろん、テキストが進まない、検定が合格しない。でも、困る必要はないんです。困るどころか、その時間は賢くなる時間ですね。そのことを忘れないでください。

では次、2番目。何回やってもできない。今回のテーマですね。でも、じゃあ一体何回やったんですか。何百回ですか。何千回ですか。何万回やったんですか。そうですね。何回やってもってという言葉、これ変な言葉ですね。その人によって基準が違いますね。10回ぐらいいやって、そういう言葉を出す人もいるし、50回やって出す人もいるし、100回やっても出さない人もいます。みなさんのやっているお勉強ではあまりないかもしれませんが、将来、大人になって何かを研究したとき、何かを発見するために頑張ったとき、そういうときは何千回やってもできない、なんていうこともあるんですよ。それをめげないで頑張ってやっとなんて発見してノーベル賞を取ったとか、そういう博士も科学者もいらっしゃるんですよ。ですから何回やってもなんていう言葉は使わないことですね。

はい、そして3番目です。気分転換に他の問題をやってみるということです。できないことが素晴らしい時間だということも分かっても、どうしても気持ちが頑張り切れず、疲れてしまうなんていうときありますね。やっぱりできない時間というのはストレスになりますから。ですからあまりそのストレスがたまったときは、気分転換に自分が得意そうな問題をやってみてください。パズル道場は先に進んでいいんです。10級が受かってないとき、9級や8級の問題を挑戦してもいいことになっています。検定は受けられませんよ、でも日々のテキストはどんどん先に進んでおいて、できたら丸をもらって正解ということにしておいていいんです。

それでは、きょうもパズル道場頑張ってください。